

信楽中央病院からの便り

冬号 (第2号)



信楽中央

発行 2019年1月
編集 甲賀市立信楽中央病院
広報委員会

～地域密着型の病院を目指して～



新年のご挨拶

院長 中島 恭二

皆様、新年おめでとうございます。平成で迎える最後のお正月となりました。

昨年は、当院にとっていろいろな出来事がありました。猛暑の続いた夏には感染症のため一時病棟を閉鎖しなければならない事態となり、皆様にご迷惑をおかけしました。改めて職員全員で感染症対策に力を入れています。

新しい医療機器として80列マルチスライスCTと血液検査の自動分析装置を導入しました。CT画像は格段に向上し検査時間、放射線被曝も少なくなりました。血液検査も受診した日に主な結果をお知らせすることができるようになりました。診療にすぐ反映することができます。新しい機器を活用してさらにレベルの高い医療を目指して参ります。

秋には長年の念願であった病院独自のホームページを立ち上げました。病院の情報や活動を幅広くお知らせでき来るようになりました。皆様に病院をより活用していただけるようお願いしております。新しい話題も順次掲載されますので時々ホームページをチェックしてみてください。

10月には初めての試みとしてNPO法人COMLによる「病院探検隊」の視察を受けました。第三者に病院を観察していただき、接遇や設備環境など幅広く意見をお聞きました。利用者の目線に立った貴重なアドバイスを頂きました。「親近感の中にも礼儀を持って」地域の病院として頑張っ参ります。今年も中央病院を宜しく願います。

臨床化学自動分析装置導入のご案内



当院では、平成 30 年 11 月から臨床化学自動分析装置を導入しました。

これは、肝機能や腎機能などの血液検査を測定する装置で、この装置の導入により精度の高い検査が迅速に報告できるようになり、診療予約時間の 45 分くらい前に来院していただくと診察時にはほとんどの結果が出ていることとなります。

これまでなら翌日にしかわからなかった検査結果がその日の内にわかるので、患者様の状態をより詳しく診られるようになり、よりよい診察につながると考えています。

診療待ち時間の長くなる方も出てくるかと思いますが、ご理解をお願いいたします。

【臨床化学自動分析装置で測定している項目】

炎症反応をみます	CRP
栄養状態をみます	総蛋白、アルブミン
主に肝臓や胆道を調べます	T-BIL、AST (GOT)、ALT (GPT)、 γ GTP、LDH、 アルカリフォスファターゼ、コリンエステラーゼ
腎機能を調べます	尿素窒素、クレアチニン、尿酸
膵臓を調べます	アミラーゼ
心臓や筋肉の障害を調べます	CPK
動脈硬化に関係します	中性脂肪、総コレステロール、HDL-コレステロール LDL-コレステロール
糖尿病などを調べます	血糖
体液や血圧の調整をしています	Cl、Na、K、カルシウム、リン、マグネシウム
貧血の状態を調べます	鉄、UIBC

80列マルチスライスCT稼働のご案内



当院では、平成 30 年 11 月から 80 列同時収集を可能とするマルチスライス CT 装置を稼働させました。

今回、導入した CT 装置では X 線を検知する検出器が従来 (4 列) の 20 倍の 80 列あり、広範囲をより短時間で撮影ができるようになり、高齢者、救急等で息止めが長くできない患者様でもよい画像が得られるようになりました。この装置は X 線被ばくを低減するための技術も盛り込み、従来の装置に比べ、さらに少ない X 線量でより質の高い画像が得られるため、被ばくにおいても安心して検査を受けていただくことができます。

CT 装置と同時に 3Dワークステーションを導入し、血管や骨の立体的な画像ができるようになりました。また、大腸の内部を仮想画像などで診断する大腸 CT 検査を開始しました。(P6.7 参照)

当院は、基本方針である「地域に密着した総合ケアの提供」に努め、地域に開かれた病院としての役割を積極的に進め、より安全・安心の医療の提供を目指していますので、ぜひ、ご活用ください。

ミュージックベルコンサート

クリスマス演奏会

2018年12月1日(土)、病棟2階ロビーにて「ぼよぼよず」さんによるクリスマスのミュージックベルコンサートを開催いたしました。2種類のハンドベルを使ってクリスマスソングを始め様々なジャンルの楽曲を演奏していただきました。

患者様・職員一同、綺麗なハンドベルの音色に酔いしれました。「ぼよぼよず」の皆さん、楽しい音楽の時間ありがとうございました。



～午後診療(初診外来)開設のご案内～

当院では、地域の皆さんに受診していただきやすい環境を整えるため診療時間を見直しました。

今回の診療体制見直しは、初診のみ午後診療をさせていただくものですが、これまで急な発熱や体調不良などがあっても翌日まで受診を見送り、ご多用な中で都合をつけて午前中に受診していただくことがあったと思いますが、これまでより受診していただきやすくするために診療時間を見直しました。

今後は、ちょっとしたことでも放置することなく、ぜひ当院をご利用いただき受診されますようご案内いたします。

診療科	初診外来
診療日	月～金曜日
受付時間	13:30～16:00
診療時間	14:00～17:00

冬の水分不足に注意しましょう！

栄養科 福井 里佳

「脱水症」と聞くと夏によく起こる印象ですが、実は冬でも注意が必要です。

冬は空気が乾燥し、さらに暖房を使う事で湿度が下がります。夏のように汗をかかなくても、知らず知らずのうちに私たちの皮膚や呼気からも水分が失われています。

そのうえ、冬に流行しやすいインフルエンザやノロウイルスなどに感染すると、発熱・下痢・嘔吐で沢山の水分や塩分を失い、脱水のリスクがあがります。

体が必要とする水分は1日2~2.5リットル。そのうち飲む水分は1~1.2リットルが目安です。

コップ1杯(約200ml)を起床時/朝昼夕の食事時/就寝前に計5杯飲むと約1リットル飲む事ができます。日頃から、こまめに少しずつ水分摂取を心がけましょう。また、嘔吐・下痢等で脱水症状がある場合は、塩分など電解質の含まれる「経口補水液」がおすすめです。



～ 冬と高血圧 ～

診療部 兒玉 征也

とうとう冬の季節がやってきましたね。

今年の夏はものすごく暑い日が続き熱中症への対策が話題となりましたが、冬はしっかりと寒いですね。

さて、今回は冬と血圧のお話をさせていただきます。

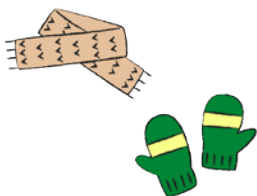
皆さんもよく知っておられるかと思いますが、血圧は冬場になると高くなりやすいのです。では、それはなぜでしょうか。

冬場に血圧が高くなりやすい理由はいくつかあります。

一つ目は気温の低下に対して身体が体温維持のために働くことで血管が収縮するためです。二つ目は外が寒く運動不足になりやすいため、三つ目は忘年会や新年会など飲酒の機会が増えたり食事による塩分摂取が増えたりするためです。

冬の時期には心筋梗塞や心不全などの心臓病も多く起こることがわかっていますが、これもやはり寒冷刺激による血管の収縮や食生活の乱れが関与していると言われています。

健康を保つために外出時には防寒着に加えてマフラーや手袋も着用し身体が急に冷えないようにして、家の中では食べ過ぎや飲み過ぎに気をつけましょう。



防寒対策



ご存じですか? 正しいマスクの使用方法

看護部 田中 美香

いよいよ冬本番、風邪やインフルエンザの季節がやってきました。感染には十分気を付けたいですね。そこで大活躍するのがマスクです。最近是不織布を使用した使い捨てマスクが主流です。形や機能もいろいろありますが、正しい使用方法はご存知ですか？

- ・大きさは顔にあっていますか？
- ・マスクと顔の間に隙間ができていませんか？
- ・あごも鼻もカバーできていますか？
- ・マスクの表面を手で何度も触っていませんか？
- ・使い捨てマスクを使いまわしていませんか？



顔にしっかりフィットさせ隙間を作らないようにしましょう。鼻からあごまで完全に覆います。そうすれば隙間からのウイルス侵入を防げます。マスクの表面にはウイルスが付着している可能性がありますので表面は触らず、ゴムを持って外したら速やかに捨て手を洗いましょう。

使い捨てマスクは、毎日清潔なものと交換しましょう。

マスクで感染を完全に予防することは困難と言われています。うがいや手洗い、部屋の加湿なども心掛けてくださいね。

地域連携室だより

地域連携室長 奥田 幸代

当院では地域のみなさまに開かれた病院作りを目指して取り組んでいます。

外来の待合室には、数年来、色んな置物が並んでいます。

職員としては思い入れもあり、何とも感じずに年月が過ぎていました。

先日、有る方から置物を変えてみてはどうか…とのご提案を頂戴いたしました。

そこで…信楽高校に生徒の作品を展示して頂けないかとお願ひしたところ快く引き受けて下さいました。

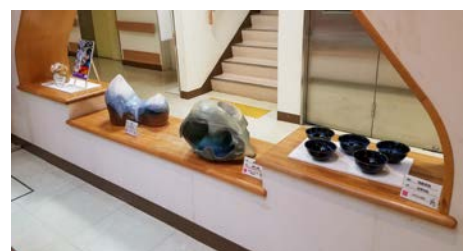
待合所の処置室前の一角が信楽高校生徒の皆様の展示コーナーになっております。

ご来院の際には是非ご覧いただき、感想ノートに何か一言でもお言葉を頂戴できませんでしょうか…

皆様の一言が生徒の皆様の励みになると思います。

作品は大作もあります。そして一定期間で随時、交換されます。

中央病院にお越しになるときの楽しみの一つとなればと思います。

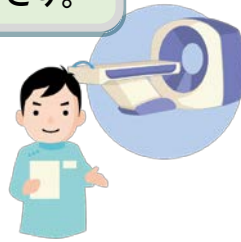


大腸CT検査をご存じですか？

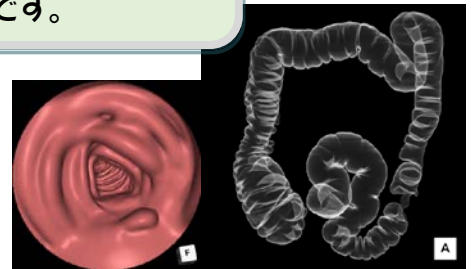
当院では大腸CT検査を実施しています。

大腸CT検査って！どんな検査？

CT装置を利用した
苦痛の少ない検査です。



CT装置から得られる情報で
大腸の病気を発見する大腸の
画像診断検査です。



検査はどうやってするのか？

検査前日に
検査食・大腸CT用バリウム・下剤等を
案内通りにとっていただきます。

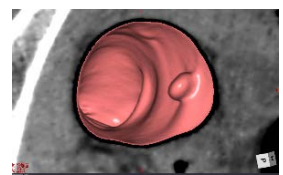


検査当日は、食事をとらずにお越しいただきます。
検査は肛門から炭酸ガスを注入し、大腸を膨らませてCT装置で撮影します。
検査時間は10～15分程度です。

膨らませるのが
ポイント!!



仰向けとうつぶせで撮影
息を止めるのは10秒程度



得られた画像で診断します!!

※炭酸ガスは体内への吸収が早いため、検査後の不快感は少ないです。

検査の費用はどのくらい？

医療保険が適用されます。(便潜血検査で陽性になった方など大腸がんが疑われる場合)
1割負担の方で“2,500円程度”・3割負担の方で“7,500円程度”
なお、検査費用とは別に“検査食費用として1,000円”が必要になります。

大腸 CT 検査をおすすめできる点 (大腸内視鏡検査と比較して)

- ◆ 大腸内視鏡検査は内視鏡を挿入する際に痛みを伴うこともありますが、大腸 CT 検査は痛みの少ない検査です。
- ◆ 大腸内視鏡検査に比べて、下剤を飲む量が少ないです。
- ◆ 大腸内視鏡検査は腸管が長く、走行が複雑な場合、検査時間が長くなることがあります。大腸 CT 検査は CT 装置に寝てから検査が終わるまで 10~15 分程度と検査時間が短いです。
- ◆ CT 装置で撮影しますので、大腸以外の臓器 (肝臓や膵臓、腎臓など) の情報も得ることができます。

大腸 CT 検査が苦手な点

- ◆ 異常を見つけた場合に、大腸内視鏡検査のように病変の一部を採取して検査 (病理検査) にまわすことやポリープを切除するような治療ができません。
- ◆ 6mm 以上のポリープ発見率は 95%以上とされていますが、平坦な病変を見つけにくく、微細な構造の観察は大腸内視鏡検査の方が優れています。
- ◆ **上記のことから、大腸 CT 検査で異常が見つかった場合には、大腸内視鏡検査を受けていただくことをお勧めします。**
- ◆ CT 装置で撮影しますので少量の放射線被ばくを伴います。

大腸がんは増えています。

大腸がんによる死亡数および罹患率は増加傾向にあり、2017 年の統計で大腸がんでの死亡数が女性で第一位、男性で第三位、男女合計で第二位です。また、2014 年の統計で新たに大腸がんと診断された患者さんは、女性で第二位、男性では第三位、男女合計では第一位となっており、年齢別でみると中高年で増加しています。(国立がんセンター がん情報サービス調べ)

大腸がんは早期発見、早期治療が大事です。

大腸がんは、早期に発見され、治療を開始すると生存率が高く、比較的「直りやすいがん」と言われています。

当院では、大腸内視鏡検査に大腸 CT 検査と大腸の病気を調べるための検査の選択肢を増やし、大腸がんの早期発見に努めています。

便潜血検査で陽性と判定された方、便に血が混じる、下痢と便秘を繰り返すなど、大腸の病気が心配な方はお気軽に担当医にご相談ください。

お問い合わせ

甲賀市立信楽中央病院

〒529-1851 滋賀県甲賀市信楽町長野 473

電話) 0748-82-0249

外来診療表

(2018年12月～)

			担当医師				
診療科・曜日			月	火	水	木	金
午前	総合診療科 (内科) (外科) (小児科)	初診	中島	兒玉	今枝	寺田	北川
		再診(予約)	-	中島	中島	-	中島
			北川	北川	-	北川	-
			今枝	-	-	今枝	今枝
			-	寺田	-	-	寺田
			-	-	兒玉	-	-
午後	総合診療科	初診	寺田	兒玉	北川	今枝	兒玉
		再診(予約)	-	-	-	-	中島
	循環器内科(月曜日)		松本	-	-	-	-
	整形外科(火曜日)		-	浅島	-	-	-
	眼科(第1・3・5木曜日)		-	-	-	井島	-
	外科(第2・4木曜日)		-	-	-	寺田	-

受付時間・診療時間			
診療科	診療日	受付時間	診療時間
総合診療 (内科・外科・小児科)	月～金	8:00～11:30	9:00～17:00
		13:30～16:00	14:00～17:00
循環器内科	毎週月曜日	13:00～15:00	14:00～17:00
整形外科	毎週火曜日		13:30～17:00
眼科	第1・3・5木曜日		14:00～17:00
外科	第2・4木曜日		14:00～17:00

- 1 都合により担当医が変更になる場合があります。
- 2 月はじめと初診の方は保険証をご持参ください。
- 3 再診の方は診察券をご持参ください。
- 4 紹介状をお持ちの方はご持参ください。
- 5 リハビリテーション外来は診察後の施行となります。

当院ホームページをご覧ください。



信楽中央 冬号 (第2号)

編集・発行 甲賀市立信楽中央病院
広報委員会

〒529-1851 滋賀県甲賀市信楽町長野 473

電話：0748-82-0249

FAX：0748-82-3060

<https://koka-shigaraki-hp.jp>